

Mランドニュース Vol. 200

丹波ささ山校 令和5年12月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 <http://www.sasayama-ds.com/>

特大号

発行責任者 前川 昂希
E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

私の成功のもととはただひとつ。
決して言い訳を
うけいれなかったこと。
フローレンス・ナイチンゲール

感謝・未来

Mランドフェスタ事務局 谷口 健

令和元年の開催以来、実に四年ぶりとなる第十五回Mランドフェスタ2023を開催できました。

初めての事務局長という大役に、戸惑いと緊張もありましたが、皆さまの温かいご支援のおかげで、無事開催することが出来ましたこと、誠にありがとうございました。

当日は、天候が危ぶまれましたが、早朝より約百名の方にお越しいただき、一緒に篠山の街のゴミ拾いを実施し、気持ちの良いスタートを切れました。



小さなお子様から、ご年配の方まで一緒にゴミ拾いに取り組んでいただく様子を見て、Mランド丹波ささ山校の伝統でもある「掃除」にたくさんの方に賛同いただき、今回のテーマでもある「感謝 未来」の気持ちをこめて、掃除をするこの大切さを再認識できました。

午後からは、とにかく楽しめるイベントを企画し、お越しいただいた皆さまに多くの笑顔を届けようという想いの

もと開催しました。

イベント中は時折、小雨も降る肌寒い天候でしたが、約四百名の方にお越しいただき、大成功で終えることが出来ました。



お越しいただいたお客さまから「自分たちだけが楽しんでいるのではなく、地域住民の方々と一緒になって楽しめて良かった」というお声をかけていただいたときに、Mランドフェスタを開催して本当に良かったと心から思えました。これからも感謝の気持ちを忘れず、未来へ希望をもって前進します。

ありがとうございました。

感謝の気持ちを込めて

そうじ責任者 後藤 茂・江本 崇人

Mランドフェスタはまず掃除から！参加者の皆さまとともに、早朝から丹波篠山の街のゴミ拾いを実施いたしました。

「ゴミ捨てる・運捨てる・ゴミ拾う・運つかお！」をスローガンに、参加者の方々と一緒に、Mランドからスタートして篠山市内の各所に分かれ、約一時間みんなで街をきれいにしました。



特に印象に残っていることは、お母さんやお父さんと一緒に参加された小さな子どもさんたちが、すごく熱心にゴミ拾いしている姿です。



なかには、足を骨折されているのにも関わらず、車いすで参加し、車いすからでも拾えるゴミを探し、頑張って拾ってくれる方もいて、心が温かくなるのを感じました。



篠山を流れる篠山川に沿ってゴミを拾っていただいたグループでは、河川敷に投げ捨てられたゴミを勇猛果敢にガードレールを乗り越えて拾いに行かれるお姿も見られました。



別のグループでは、排水溝の中に捨てられたゴミを発見し、溝の中に頭まで入りながら、捨てられたゴミをみつけ、拾って下さる方など、いたるところで一糸懸念な姿を拝見出来ました。



約一時間のゴミ拾いを終えられて、Mランドに戻ってこられた皆さまの表情は、非常に清々しく笑顔にあふれていました。



【クリスマスゴミ拾い】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしませんか？
サンタの着ぐるみ大歓迎!!

- 日付 12月11日(月)
- 場所 Mランド AM9:20集合
- ※約1時間ゴミ拾いを行います

※ 備品はMランドでご用意します。
ご希望の方はMランドまでご連絡ください。

大切な命を、未来へつなぐこの取り組みにご賛同いただいたことに、心から感謝申し上げます。Mランドはこれからもこの活動を継続して参ります。



また、『ペットボトルのキャップで助けられる命がある』を合言葉に、新聞折込やホームページなどでお知らせしましたところ、Mランドフェスタ当日までに何人もの方々が、たくさんのキャップを手に来所してくださいました。

この光景を目にしたとき、人の温かさ、優しさ、素晴らしさに感動いたしました。

当日も、多くの方がキャップを持ってきてくださり、全部で約二万九千八百個が集まりました。これで四十七・八人分のポリオワクチンが購入できます。

感謝の想いを形に

イベント責任者

大澤竜貴・笹倉唯奈

日頃の感謝の気持ちを込めて、美味しい食事や楽しいイベントで皆さまと一緒に幸せに過ごしたい時間を過ごしました。

お食事コーナーは、Mランドフェスタでは初めてとなるキッチンカーをお招きし、本格的なバーガーや窯焼きピザ、ホットドッグ、ジェラート、チーズケーキなどのスイーツもお楽しみいただきました。どれもおいしく、大好評でした。



その他にも屋台定番のきそば、たこやき、フライドポテト、綿菓子なども売り切れ続出で大忙しでしたが、おいしそうに食べておられる姿はなによりのご褒美でした。

また館内では、本格的なお茶席でお抹茶とお茶菓子をご用意し、皆さまに振舞いました。肌寒い中の温かいお茶は冷えた体に染みわたり、自

然と笑みがこぼれ和やかな空気が流れていました。



お楽しみ広場では、あてものやスーパースポーツくいをはじめ、ジャグリングやバルーンパフォーマンスも大人気で、子ども達が楽しそうに遊んでいる姿や声が会場のあちこちから聞こえ、みんなを笑顔にしていました。



他にも会場内では、白バイ、消防車、自衛隊の特殊車両、かっこいいバイクや車を関係各所の皆さまにご協力いただき、展示することができました。普段近所で見ることできない車両に、みなさん興味津々で、お話を聞いておられました。



ステージの最初を飾ってくださったのはDANCING DJ'sの皆さまで、小学生とは思えない元気なパフォーマンスでオープニングを盛り上げてくれました。



篠山鳳鳴高校書道部の書道パフォーマンスでは、書き上げられた素晴らしい作品に会場全体から「おー!!」と歓声が上がっていました。



表面の集合写真をご覧ください

つづいてご登場いただいたのは、篠山産業高校吹奏楽部の皆さんです。毎回、楽しい演出で会場を魅了してくれています。今年はジャンボリミッキーのダンスで、会場と一体化したパフォーマンスを披露してくださいました。



イベント後半でのお楽しみビンゴ大会は大盛り上がり。「ビンゴ!」と言って、お目当ての景品が当たると、両手を上にあげジャンプしながら喜んでおられました。



ご協賛下さったスポンサーの皆さまありがとうございます。

イベントを締めくくったのは、インストラクターによるカーパフォーマンスです。皆さまへの感謝の気持ちを込めて連日

練習に励んできました。自動車とバイクによる息の合った動き、迫力の走行をご覧になった皆さまから「すごかった」「もっとみたい」などたくさん声をかけてくださいました。



イベント終了後には、「一秒全瞬間が楽しかった!」という大変嬉しい言葉もいただき、来年もまた皆さまと笑顔になれるイベントを開催しようと思いを決めました。

嬉しいおたより

今から遡ること六年前、Mランドで免許を取得し、それ以降毎年Mランドフェスタにお越しいただいている池野望様から、お手紙をいただきましたのでご紹介させていただきます。

先日はMランドフェスタ、本当にお疲れさまでした。待ちに待った四年ぶりの開催、本当に嬉しかったです!

私が皆さまに会いたかったのは、勝手に来てるだけなのに、「来てくれてありがとう」とあたたかく出迎えてくださって本当に胸がいっぱいでした。

私からするとMランドフェスタを開催して下さってほんまにありがとうございますという気持ちです。こうして一年に一度帰る場所と機会を作ってくださっていることに感謝でいっぱいです。四年ぶりに、顔を見てすぐ名前を呼んでくれて、「何歳になったんや!」「仕事どうや?」って聞いてくれるMランドのあたたかさが大好きです。

私は先々月、順調にゴールド免許になりました。Mランドで学んだ運転が大好きになり、「車」はすぐに、私の人生に欠かすことのできない相棒になりました。

今はフルタイムの仕事に転職して、日本各地いろいろな場所を旅しながら仕事をしています。特に南の島など離島は車が欠かせず、ひとりで運転することも多いのですが、私本当にドライブが大好きです!いつも知らない景色の中運転して、新しい場所へ連れて行ってくれるのが本当に楽しいです。

運転することの難しさと楽しさ、責任と喜び、どちらもMランドでたくさん教えてもらえて本当によかったなあ、いつも思っています。

今や私の人生に運転や車が必要でも楽しさという面でも欠かすことのできないものになっていて、こんなに人生や生活を豊かにしてくれるものに出会ったことも、それをMランドで教わったことも、ほんとに幸せだなあと

常々思っています。

免許を取得してから、六年が経ちますが、(手紙を書きながら、自分でもびっくりしています。笑)今でも「帰ってきた」感覚があります。

これからも、皆さまとの縁をずっと大切にしていきたいです。

企画・準備、フェスタ当日から片付けまで大変だったと思いますが開催して下さってありがとうございました。

また来年も、みんなと一緒に来れるように今から予定しておきますね!笑



Mランドフェスタで四年ぶりに再会したインストラクターとの記念写真

編集後記

お蔭様で二〇号

今年もMランドニュースをご愛読いただきありがとうございます。

七月から、Mランドニュースの発行責任者を前任の井本より引き継がせていただきましたが、あつという間の半年でした。来年も皆さまに新鮮で、くすつと笑えたり、ホッとしていただけるニュースをお届けできるように、精一杯がんばります。

皆さま良いお年をお迎えください。

前川 昂希